

コミセンだより

おおべの里

2025

11月

令和7年度 小野市防火ポスター優秀作品

「小学生の部」最優秀賞

いのうえ

せいな

☆消防長賞

井上

聖菜さん

(大部小学校4年)



井上聖菜さんにインタビュー!



井上聖菜さんに受賞の喜びとこのポスターを描いた動機について聞いてみました。

「最優秀賞と聞いてとてもうれしかったです。うちの人もとても喜んでくれました。」

7月に社会見学でクリーンセンターに行きました。そのときの説明で『モバイルバッテリーがゴミの中に混ざっていて、火災になり、大変だった』と聞いて描こうと思いました。

このポスターを見て、みんながゴミの分別をしっかりと、火事をふせいでくれたらいいなと思います。」

受賞作品は、11月16日まで図書館で展示しています。



募集中!

「おとなの寺子屋」

～歴史バージョン～



《第1回》～桜づつみをぶらり歩く～

令和7年12月20日(土) 9:00～12:00

《第2回》～桜づつみから見た歴史～

令和8年1月18日(日)10:00～11:30

場 所: コミセンおおべ 大ホール ほか

対 象: 18歳以上の方

募集定員: 各回40人(申込多数の場合は抽選)

講 師: 西田 猛さん(元好古館副館長)

受 講 料: 各回100円

申込締切: 12月5日(金)

申込方法: 各コミセンにある申込用紙にご記入の上、

コミセンおおべの窓口または、FAX
で申し込むか、右の二次元コードか
らお申し込みください。



問合せ先: コミセンおおべ TEL 63-6100



おおべの気になるところ あちこち

[Vol.8]

社会福祉法人小野ひまわり保育所

小野ひまわりこども園



園長 長谷川 多恵 さん

小野市広渡町66 TEL 62-5129

Q:園の方針を教えてください。

A:小野ひまわりこども園は『健康な体と豊かな心を育てる』を教育保育目標とし、一人一人の子どもの育ちを支え、保護者の子育てを支援しています。

子どもたちの生きる力を伸ばし、人の中で人と生きることを意識し日々保育しています。

Q:園の取り組み(カリキュラムや行事)を教えてください。

A:大きな行事としては、運動会、発表会などがあります。

日々の遊びの中では家庭的で温かい雰囲気の中でゆっくりと過ごしていますが、一日の活動の中でメリハリをつけ、友だちと協力して取り組むことの大切さも伝えるようにしています。

Q:子どもたちのいいところを教えてください。

A:子どもたちはとても個性豊かです。園庭で虫を追いかけて走り回ったり、図鑑で調べたり。年下の子の手を引いて一緒に遊んだり、お散歩に行ったり。笑顔はもちろんのこと泣いている顔も、怒っている顔も、すねている顔もとてもかわいく日々癒されています。

Q:先生方のいいところを教えてください。

A:職員も一人一人の個性を活かし、子どもたちと日々真剣に向き合っています。楽しいことが大好きな子どもたちの笑顔のために試行錯誤の毎日です。

仕事ばかりではなく、自分の好きなことを楽しむことで見聞を広め、子どもたちと笑い合う話題を共有したいと考えています。

Q:大部地区の園として、大部に対する思いを教えてください。

A:豊かな自然の中、田んぼの真ん中にある小野ひまわりこども園、春には桜の木の下で花見。秋には近くの広渡廃寺歴史公園へ散歩に行ったり、ドングリ拾いをしたりと、のびのびと子どもたちが遊べる環境にとっても感謝しております。

11月29日(土) 13:30~15:30(受付 13:00~)

場所 小野市うるおい交流館エクラ エクラホール

◇第1部 中学生人権作文発表(13:45~)

◇第2部 講演会 演題:太鼓といのち -いのちを吹き込み、いのちをつなぐ- (14:00~)

少年時代に受けた差別やいじめを乗り越え、祖父から受け継いだ太鼓づくりに誇りを
持って生きる杉本さん。自身の経験をもとに、命の尊さや人とのつながりの大切さ、そ
して差別のない社会への願いを語ります。

講師:杉本 大士さん (有)太鼓屋六右衛門

当日参加も可能

~差別について考えてみませんか。みなさまのお越しをお待ちしています~

【問合せ先】大部地区ヒューマンライフ協議会(コミセンおおべ内) TEL63-6100 FAX63-6101



「ONOいじめ等防止ウィーク」11月17日(月)~23日(日)

ひとりで悩まないで相談しましょう。

ONOひまわりほっとラインTEL62-4110 (月~金 9:00~17:00)



気になる~!



ちよつと気になる歴史秘話8

小野市立好古館学芸員 山本 原也

奈良県御所市の高鴨(たかがも)神社(上鴨社)では、主神祭「アジスキタカヒコネ神」を祀っています。別名を「迦毛大御神(かものおおみかみ)」といいます。『古事記』において「大御神」とつくのは、天照大御神(あまてらすおおみかみ)、伊邪那岐大御神(いざなぎのおおみかみ)とあわせて3神だけであり、非常に高い位にあったことが分かります。また、周辺には他にも鴨都波(かもつば)神社(下鴨社)、葛木御歳(かつらぎみとし)神社(中鴨社)があります。これらの神社は、「鴨氏」と呼ばれる集団によって祀られてきたと考えられています。

塚口義信氏(堺女子短期大学名誉教授)の研究によると、奈良盆地の南部に鴨氏が盤踞(ばんきよ)していましたが、4世紀末に応神(おうじん)天皇がこの地に進出してきたため、鴨氏は天皇に服属した、と考えられているようです。また、『日本書紀』には神武(じんむ)天皇が事代主神(ことしろぬしのかみ)(鴨都波神社の主神祭)の娘を正妃にしたと記されていることから、応神天皇と神武天皇を同一人物とみて、天

皇が大和を支配するうえで鴨氏との間に婚姻関係があったことを想定されています。

神武天皇は、『日本書紀』や『古事記』に登場する初代天皇です。なかでも、日向(宮崎県)から瀬戸内海を通って、熊野(和歌山県)に入り、そして大和を平定したという「神武東征」神話は、よく知られています。熊野から大和への先導は、日本サッカー協会のシンボルマークでおなじみのハ咫烏(やたがらす)です。

神武天皇は神話上の存在で、実在性が疑われています。一方、応神天皇は実在した可能性が高いと考えられています。そして、両天皇には共通した歴史的背景が認められることから、同一人物と考える説があるわけです。(つづく)



高鴨神社(2025年2月撮影)



サークル開催日は、変更になることがありますので、各サークルでご確認ください。サークル見学等を希望の方は、コミセンおおべに問い合わせてください。

コミセンおおべだより おおべの里
令和7年11月1日発行
編集・発行 コミュニティセンターおおべ
住所 小野市敷地町 1570-1
TEL 63-6100 FAX 63-6101
E-mail cc-obe@city.ono.hyogo.jp
大部地区の人口 《令和7年9月末現在》
世帯数 2,232 世帯 人口 5,027 人
(男 2,444 人 女 2,583 人)